



テトラパックの 未来に向けた約束

サステナビリティレポート 2023



CEOからのメッセージ

テトラパックは、未来への継続的な取り組みと持続可能性への転換をリードするという戦略的目標の一環として、最も貢献できる相互に関連する5つの分野、食品システム、循環型経済、気候、自然、社会的持続可能性で総合的なアプローチにより、取り組みを進めています。

2022という年は、不確実性とマクロ経済の課題が浮き彫りになった年でした。サプライチェーンの問題や原材料費の高騰に加え、アフターコロナの影響はまだ続いています。世界が1つであることを直接的、間接的に知らしめたロシアによるウクライナ侵攻、一部の国に壊滅的な被害をもたらす記録的な熱波、干ばつ、洪水などの異常気象現象。こうしたすべての要因が、さまざまな形で国際社会に影を落としています。特に世界的なインフレによる食料価格や生活費の高騰で世界の至る地域で食料不安が現実のものとなっています。

こうした状況を背景に、増加する人口に持続的に食料を提供するという食品産業の役割はさらに重要度が増しています。

テトラパックは、食品加工および容器包装ソリューションのリーダー的企業として最前線に立ち、環境への影響を軽減すると同時に、食品サプライチェーンが稼働を維持するようお客様を支え、テトラパックの従業員とテトラパックが事業を展開する地域社会の健康と福祉を支援するために全力で取り組んでいます。

食料安全保障の強化、食料システムの脱炭素化、気候変動との闘いは、まったなしのスピードと相当の規模が要求されています。現在のテトラパックの経営においても、これらの火急的な問題に対応する革新的で統合されたソリューションが必要です。しかも、それらのソリューションは誰も置き去りにしない方法でなければならないと考えています。そのため、テトラパックは、業界内部で未来への継続的な取り組みと持続可能性への転換をリードするという戦略的目標の一環として、

最も貢献できる相互に関連し、しかも依存する、食品システム、循環型経済、気候、自然、社会的持続可能性の5つの分野で、総合的なアプローチにより取り組みを進めています。

さらに、テトラパックは目標達成に向けて、生活の改善、環境への影響の軽減を推し進めることで、究極的には全世界に対する健康な食事の提供を目的とした、回復力のある持続可能な食品バリューチェーンの構築を支援する取り組みを加速してきました。何十年もの間、テトラパックのテクノロジーとソリューションは、傷みやすい食品の品質と安全性を保護し、品質保持期限を延長する低温物流が不可能な遠隔地でも、人々が食品にアクセスできるようにしてきました¹。



Adolfo Orive
社長兼CEO
テトラパック

並行して、テトラパックは容器包装および食品加工処理ソリューションの持続可能性プロファイルに多額を投資して、大幅に強化してきました。たとえば、今後5~10年間で毎年1億ユーロを投資して食品の安全性を損なうことなく、リサイクル可能性の強化、再生可能な資源の増加を目指して、シンプルな原材料の紙容器の研究開発を計画しています²。

さらに、テトラパックでは、業界の変革を段階的に進めることが可能になるように、最大年間4,000万ユーロを投じて紙容器の回収とリサイクル³を促進し、新しい規制の目標を支援します。

食品システムの脱炭素化⁴も重要な優先事項です。そのためにテトラパックではバリューチェーン全体を視野に入れていきます。バリューチェーン全体とは、上流の原材料サプライヤーとの作業から、自社の事業における温室効果ガス排出量(GHG)の削減、お客様の事業、販売された機械および生産終了に関する下流でのお客様との連携に至るまでが含まれます。

昨年、テトラパックは、世界で最も持続可能な食品用紙容器⁵を開発する取り組みで、1つの新しい目標を達成しました。常温で配送可能な食品用紙容器で初めて、アルミ箔層を新しい繊維由来のバリアに置き換えるテストに成功したのです。テトラパックは、ネットゼロへの取り組みで大きな成果を挙げ、自社の事業⁶での温室効果ガス排出量を39%削減しました。これと同時に、回収とリサイクルをサポートする取り組みでは、世界中で120万トン⁷の紙容器をリサイクルしました。

さらに、自然への影響を管理し軽減するために、テトラパックはサプライヤー⁸やお客様と協力して、責任ある調達の推進、世界的な水不足解消⁹への取り組み、生態系の保護と修復¹⁰への取り組みを進めました。

テトラパックは、**ビジネスと人権に対して実施される国連の指導原則**に従って、自社の事業とバリューチェーン全体で人権の尊重にも引き続き取り組んでいます。

組織内の多様性、公平性、インクルージョン(DE&I)の促進に重点を置きながら、上級職やリーダーシッププログラムにおける女性の割合の増加など、いくつかの分野で改革を押し進めました。インクルージョンの促進に関する意識と行動の向上、ジェンダーを越えたすべての人に平等な機会を保証するために、DE&Iアジェンダを拡大するさまざまなプログラムを開始し加速しています。

昨年、テトラパックは、ウクライナ侵攻、パキスタン、シリア、トルコの自然災害などの被害を受けた各国に、現金や物資などの寄付を通して、緊急人道支援も行いました。

テトラパックは、自分たちのチームと一緒に活動する関係者の皆様を誇りに思っています。課題が難しさを増す中で、彼らの多大な努力、推進力、熱意が、サプライチェーンの継続を保証し、私たち全員にインスピレーションを与えてくれます。テトラパックは、未来に対する強い責任感をもって、これまで以上に密接に協力し、社会が現在直面している課題に対する持続可能な解決策を見つけるために努力を続けます。「食品を安全にどこでも入手できるという約束」が、テトラパックの目標の中心をなす柱です。そして、テトラパックは、「大切なものを包んでいます」という約束を守り、食料、人々、地球を守ります。

1 <https://www.tetrapak.com/campaigns/go-nature-go-carton/overview/foodsystems>

2 <https://www.tetrapak.com/campaigns/go-nature-go-carton/sustainable-solutions/packaging>

3 <https://www.tetrapak.com/campaigns/go-nature-go-carton/overview/circularity>

4 テトラパックの脱炭素化の取り組みは、製品や運用から排出される温室効果ガス(GHG)の低減や撤廃を目指していますが、自然に配慮したソリューションや他のイニシアチブによる回収不能な残余排出量を相殺するカーボンオフセットも視野に入れています。スコープ1と2の温室効果ガス排出量の合計は、2019年をベースラインとして比較し27%削減されました。テトラパックの事業対象のGHGプロトコルの区分はスコープ1と2で、バリューチェーン全体を対象とした区分はスコープ1、2および3です。

5 これは、責任を持って調達された再生可能な素材またはリサイクル材のみを原料とする紙容器を作成することを意味します。これにより、地球の気候、資源、生物多様性の保護と修復を支援し、カーボンニュートラルな製造と流通に貢献します。また、柔軟な食品システムを実現する上で役立つ、これらの紙容器は便利で安全であるだけでなく、容器全体がリサイクル可能です。

6 <https://www.tetrapak.com/sustainability/measuring-and-reporting/sustainability-performance-data>

7 リサイクルのために回収される紙容器の報告には、利用可能な場合、政府機関、登録された回収機関、全国的な企業団体、NGOなど、広く知られた情報源の公開された公式のデータを使用しました。これらのデータは一貫したアプローチで定期的に報告されています。

8 <https://www.tetrapak.com/campaigns/go-nature-go-carton/actions/decarbonisation>

9 <https://www.tetrapak.com/about-tetra-pak/stories/sustainable-water-management>

10 <https://www.tetrapak.com/campaigns/go-nature-go-carton/overview/biodiversity>

エグゼクティブ サマリー

テトラパックは、常に目標と取り組み内容を見直し、進捗確認をしています。目標達成に向けて順調に進捗しているか、常にベストプラクティスであるか、そして最先端の科学に基づいているかを確認しています。このレポートの各章では、食品システム、自然、気候、循環型経済、社会的持続可能性という5つの重点分野における、テトラパックの取り組みを紹介しています。また、テトラパックの目標、進捗、今後の取り組みも合わせて説明しています。



食品システム

ハイライト

6,600 

万人の子どもたち
44か国へ学校給食プログラムを
提供

43,939

人の酪農家(96.2%は小規模自
営農家)に対して、22のデリー
ハブプロジェクトを通して牛乳を
提供

大豆飲料の新しい加 工処理方法

使用済み穀物から植物由
来飲料への**変換技術**

目標

手ごろな価格かつ安全で栄養価の高い食品の入手、バリューチェーン全体の食品ロスと食品廃棄の削減を実現する、確実に回復力のある持続可能な食品システム¹への貢献

取り組みと目標

確実に回復力のある、持続可能な食品システムソリューションの推奨およびシステムレベルの変化を支援する協力関係の強化

より多くの人々に安全で栄養価の高い食品を届け、食品ロスと食品廃棄を削減する高機能の食品加工処理技術および容器包装ソリューションの提供

テトラパックのベストプラクティス処理ラインの食品ロスを2030年までに50%削減(対2019年比)

今後の取り組み

- 2023年には、食品システムの4つの変革の道のりと目標を設定します。
- 持続可能な原料、植物由来の代替品、代替タンパク質など、栄養価の高い食品の製造において、食品・飲料メーカーを支援する革新的な食品加工処理技術の開発を継続します。
- 既存の学校給食プログラムへの参加を拡大し、子どもたちが栄養価の高い食品にアクセスできるように、新しいプログラムの実施をサポートします。
- 持続可能なプログラムの構築を継続することで、デリーハブモデルを拡大します。これらのトレーニングによって酪農家の知識と技術を向上し続けます。
- 食品加工処理および容器包装のバリューチェーン全体での透明性、説明責任および品質管理を継続して強化しています。

¹ Crippa, M. et al. 人間の生産活動による温室効果ガスの増加は、食品システムにもその1/3の責任があります。(2021) 出典: <https://www.nature.com/articles/s43016-021-00225-9>



循環型経済

ハイライト

最大
3,000

万ユーロ
紙容器の回収とリサイクルへの投資

120万¹

トン
回収され、リサイクルされた紙容器

2022

回
実施された、アセプティック紙容器のアルミ箔層に代わる繊維由来バリアのテスト

目標

循環型ソリューションの推進²(食品・飲料の再生可能な紙容器の設計)、再生可能資源またはリサイクル素材の使用、回収とリサイクルの拡大(無駄のない原材料の使用、ゴミの削減)

取り組みと目標

メンテナンス、リース、中古品、そしてアップグレードにより使用期間をさらに延長できる、食品加工処理および充填包装機器の設計

紙の含有を増やし、また非繊維性の成分に対する効果的なソリューションを提供することにより、紙のリサイクル業者にとって魅力のある紙容器の設計

今後数年以内に年間最大4,000万ユーロを投資することにより、世界の紙容器の回収とリサイクルのさらなる促進

今後の取り組み

- ビジネス全体で循環型経済の体系的な促進を確実にしながら、エレン・マッカーサー財団(EMF)の循環型経済の原理に従い、循環型経済の目標を設定し進捗状況进行评估します。
- 紙素材だけで作られた紙容器の環境に対する影響をさらに軽減するために、今後5~10年で、年間最大1億ユーロを投資します(シンプルな原材料の紙容器および再生可能な資源を多く含有する紙容器の研究開発を含む)。
- 原材料にかかわらず、リサイクル可能な紙容器の定義と評価の標準化、地域の市場全体のリサイクルガイドラインの統一化によって、産業連携のリーダーとしての役割を果たします。
- 2030年までに欧州連合における紙容器のリサイクル率の目標70%の達成に貢献し、テトラパックが紙容器を販売するすべての国でリサイクル可能性の基準を満たし、EMFのグローバルコミットメントを遂行します。
- 再生ポリマーの普及を推進し、2025年までに欧州において、再生プラスチックを使用した紙容器の販売を最低10%以上実現します。



気候

ハイライト

39%↓

自社事業における
温室効果ガス排出量の削減

84%

自社事業の電力消費をまかなう
再生可能エネルギーの割合

より多くの植物由来のプラスチックを購入することにより、

131

キロトンのCO₂の削減
(化石由来のプラスチック⁶を使用した場合のCO₂排出量との比較)

目標

テトラパックの自社事業、製品およびバリューチェーンの脱炭素化³による気候変動緩和への対応

取り組みと目標

2030年までに自社事業における温室効果ガス排出量のネットゼロの達成(スコープ1、スコープ2、および出張)、2019年をベースラインとして、バリューチェーン全体で温室効果ガスの46%削減、SBTi公約の気温上昇を1.5°Cに抑制

RE100誓約に従って、2030年までに自社事業で使用するすべての電力を再生可能エネルギーから調達

2030年までに、テトラパックのベストプラクティス処理ラインのカーボンフットプリントを50%削減(対2019年比)

サプライヤー、お客様、その他の関係者の皆様との連携を通し、2050年までにバリューチェーン全体(スコープ1、2、3)で温室効果ガス排出量のネットゼロの達成

今後の取り組み

- 新しいSBTi企業ネットゼロ基準⁵の認定取得に向けた、原材料⁴のサプライヤーの認定取得を促進します。
- eBeam技術の展開を継続、エネルギー消費、製品および紙容器の廃棄物のさらなる削減を目的とするeBeam技術を搭載した次世代充填機のモデルを増やします。
- スウェーデンのルンドにあるディベロップメントセンターを始めとして、テトラパックのサービス供給ネットワークの現場についての環境リスクおよび影響の分析を実行します。

1 リサイクルのために回収される紙容器の報告には、利用可能な場合、政府機関、登録された回収機関、全国的な企業団体、NGOなど、広く知られた情報源の公開された公式のデータを使用しました。これらのデータは一貫したアプローチで定期的に報告されています。
2 エレン・マッカーサー財団(EMF)の循環型経済の定義:「循環型経済とは、気候変動、生物多様性の損失、廃棄物や汚染といったグローバル課題に対処するためのシステムソリューションの枠組みである。」に準拠。出典: <https://ellenmacarthurfoundation.org/topics/circular-economy-introduction/overview>
3 テトラパックの脱炭素化の取り組みは、製品や運用から排出される温室効果ガス(GHG)の低減や撤廃を目指していますが、自然に配慮したソリューションや他のイニシアチブによる回収不能な残余排出量を相殺するカーボンオフセットも視野に入れています。

4 原材料は、板紙、ポリマー、アルミ箔、インクなど、テトラパックが食品・飲料メーカーに販売する紙容器の製造に使用する原料です。
5 気候科学に基づき、世界の気温上昇を1.5度以内に抑える取り組みと一致する世界初の企業ネットゼロ目標の枠組みの設定
6 2022年に購入された72.7キロトンの植物由来プラスチックを考慮した、気候会計の内部演算(体積 × 排出係数)に基づく。回避された排出量の計算には、公表されているBraskem社によるLCA(ライフサイクルアセスメント)の植物由来のポリマーの第三者の排出係数を使用。出典: https://www.braskem.com.br/portal/imgreen/arquivos/LCA%20PE%20I%20m%20green%20bio-based_FINAL%20EN.pdf

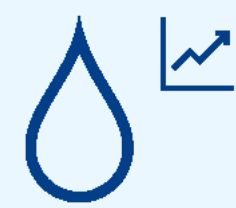


自然

ハイライト

再生可能なボリマー

の責任ある調達の手順を初めて公表



テトラパックのウォーターフットプリントおよび水に関連するリスクに対する理解を深めるための、水のバリューチェーン分析を完了

アラウカリア森林修復プログラムによる

87

ヘクタール(サッカー競技場の136倍に相当)のブラジル大西洋岸森林の修復

目標

生物多様性の保全・修復、気候変動の軽減と適応、世界的な水不足解消への貢献¹を目的とした責任ある調達慣行と戦略的なパートナーシップによる自然のための活動

取り組みと目標

テトラパックの戦略を通じてバリューチェーンにおける自然への影響の管理

CDPの森林および気候プログラムのリーダーシップAリストのランキングの維持

テトラパックの9施設の水の消費量削減目標設定により、2030年までにベストプラクティス処理ラインの水の消費量を50%削減(対2019年比)

今後の取り組み

- 2023年に、テトラパックの自然への影響の評価および戦略の結果を公開し、戦略の実行を継続して目標への進展のモニタリングを開始します。
- 森林伐採を防ぐサプライチェーンに関するEU規制への順守を目標に、テトラパックの木材の合法性の評価プロセスシステムを改正します。
- 2023年に、CDPのウォータープロジェクトに関するテトラパックの情報を初めて開示し、2030年までに自社事業における水の使用量削減目標を設定します。
- Alliance for Water Stewardshipの民間部門のメンバーとして、地域の水資源の持続性に貢献します。
- ブラジルのアラウカリア森林修復プログラムを継続して推進します。



社会的持続可能性

ハイライト



ビジネスと人権に対して実施される国連の指導原則に従って、バリューチェーン全体で人々のリスクを評価し優先順位を付けるプロセスを開始



2021年に18%だった管理職の女性が、2022年には22%に増加。全従業員の女性の割合は23%

人道支援

ウクライナ、パキスタン、トルコ、シリアの災害で被災した人々と地域社会を支える支援と寄付

目標

テトラパックの自社事業全体およびバリューチェーン全体で人権を尊重することで社会へのプラスの影響を創出²

取り組みと目標

バリューチェーン全体で重要な人権リスクに対処するために、目標およびKPIと同時に行動計画の作成

従業員に対するメンタルヘルスプログラムの提供、会社全体での前向きで自由な安全文化のサポート、および事故と業務関連の疾病ゼロに向けた継続した取り組み

マネージャー向けのインクルージョンリーダーシップトレーニング、および2030年までに男女均等とインクルージョンを推進する社内指導教育プログラムへの投資を継続(対2019年比)

全従業員向けの世界レベルのトレーニングと人材開発を可能にする人材育成プログラムへの継続投資

今後の取り組み

- サプライチェーン、自社事業、および回収とリサイクル全体での重要度の高い人権問題の防止・軽減に関する行動計画を作成します。
- 2023年には、持続可能な開発のための世界経済会議の「Tackling Inequality(不平等への取り組み)」に参加し、テトラパックの社会的持続可能性への取り組みを報告し促進します。

テトラパックの従業員

- メンタルヘルスプログラムにより、メンタルヘルスに対する支援を拡大します。
- 機会均等を妨げる障壁を特定し排除することにより、DEI(ダイバーシティ、公平性、インクルージョン)に重点的に取り組みます。
- 管理職や現場で働く女性の数を増やすために継続して取り組みます。

サプライチェーンの従業員

- テトラパックの全体的な持続可能性戦略を踏まえて要件を強化するために、サプライヤー行動規範を更新します。
- 人権への配慮を年1回のサプライヤー調査および特定のサプライヤーのカテゴリーに対する評価プロセスを取り入れて、テトラパックのリスク評価のプロセスを強化します。
- 一部の国において、試験的に廃棄物収集業者と協力し、リサイクル市場固有の具体的な行動計画を提示します。

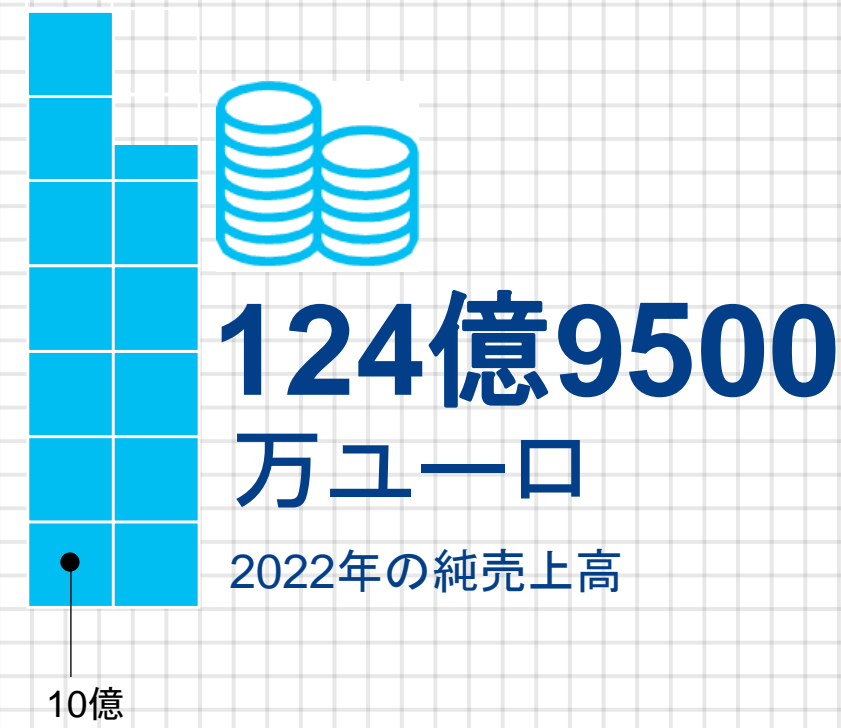
¹ 企業は、サプライチェーン(サプライチェーンの回復力)を通して、事業を越えて(システムの回復力)、地方レベルで回復力(現地の回復力)を高めることができるため、民間部門は、システムの回復力強化において重要な役割を果たしています。Water Resilience Assessment Framework Corporate Guidance https://www.globalcompact.de/fileadmin/user_upload/Water_Resilience_Assessment_Framework.pdf

² プラスの影響とは、テトラパックの従業員、サプライチェーンの作業者と地域社会、回収とリサイクルに従事する作業員、気候変動、労働、差別、危険な労働条件、および特に持続可能な収入の分野でネットゼロへの移行の影響を受けるバリューチェーンに属する人々のためにより良い結果を推進することを意味します。

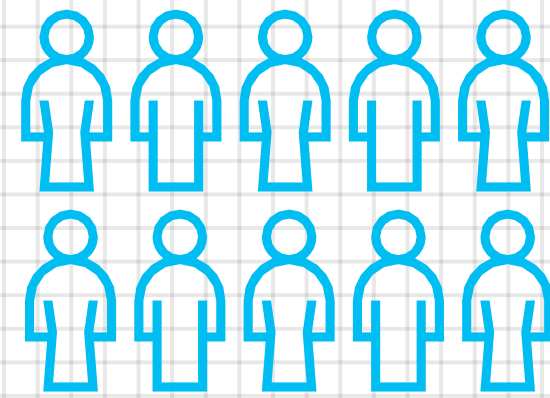
会社概要

数字で見るテトラパック

2023年1月1日現在の数値



2022年にテトラパックが販売を展開した国



23,733

名の従業員

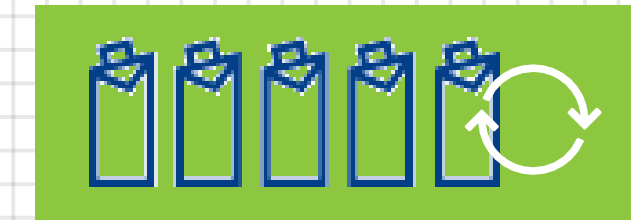


2022年に販売されたテトラパック®紙容器



200以上

のリサイクル施設との連携



120

 万トン

回収され、リサイクル工程に送られた紙容器



52
製造工場

27
マーケット
カンパニー

87
営業所

6
カスタマー
イノベーション
センター

8
テクニカル
トレーニング
センター

6
研究開発センター

テトラパックは、食品加工処理および容器包装ソリューションで世界をリードする企業です。食品・飲料メーカーやサプライヤーとの緊密な連携により、斬新でありながら安全で資源効率の良い製品とソリューションをお届けし、毎日160以上の国でたくさんの人々のニーズを満たしています。

テトラパックは、シデル、デラバルと共にテトラ・ラバルグループの一員です。グループの全員が、効率の良い食品の製造、包装、流通の技術に積極的に取り組んでいます。

[🔗 テトラパックについて](#)

2022年に納入した製品



206
充填機



2,665
食品加工処理ユニット



671
外包装機

稼働中

103,322

稼働中の食品処理加工ユニット



22,757
外包装機



8,959
包装機

1 Crippa, M. et al. 人類の生産活動による温室効果ガスの増加は、食品システムにもその1/3の責任があります。(2021) 出典: <https://www.nature.com/articles/s43016-021-00225-9>

テトラパックの持続可能性へのアプローチ

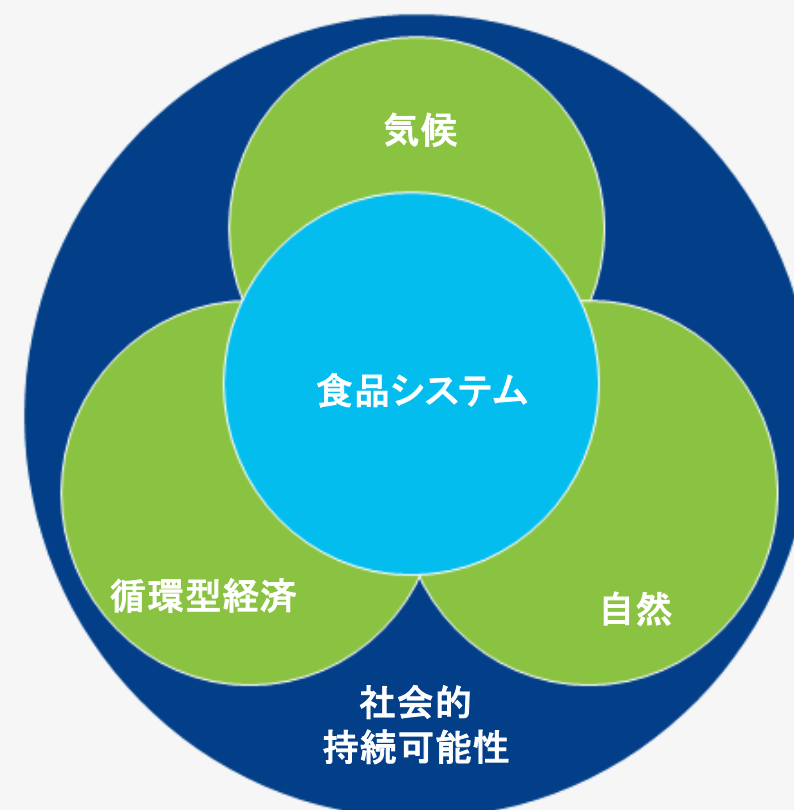
テトラパックの持続可能性へのアプローチは、「食品を安全にどこでも入手可能にすることを約束します」、そして「大切なものを包んでいます - 食品、人々、地球を守ります。」という目標で具現化されています。

テトラパックの目標は、ビジネス上の意思決定を導き、従業員を団結させ、テトラパックのイノベーションを促進する原動力であり続けます。これは、テトラパックのStrategy 2030(戦略2030)を支える、品質、持続可能性、統合と最適化、イノベーションの4つの柱がその中核を担っています。

テトラパックの持続可能性へのアプローチでは、関係者の皆様の期待と、業界にとって最も重要な環境、社会、ガバナンス(ESG)のトピックが考慮されています。また、テトラパックでは持続可能性に対するテトラパックのアプローチの中心を

なす5つの重点分野、食品システム、循環型経済、気候、自然、社会的持続可能性の相互関係や相互依存関係にも注視しています。これらの5つの分野は、テトラパックが最も貢献できる分野でもありません。

食品
人々
地球



食品システムは、持続可能な課題の心臓部と言えます。現在80億人以上の世界人口は確実に増加しています。そのために世界にはより多くの食料、そして、確実¹で回復力のある²持続可能³な食品システム⁴が必要です。既存の食品システムは、食料の安全保障および栄養の確保、数百万人の農業従事者やその他の人々の生活の支援、天然資源を圧迫せずに食料生産を拡大するという「3つの課題」⁵に直面しています。

グローバルな食品システムは、地球の温室効果ガス(GHG)排出量の30パーセント以上を占め⁶、気候変動の一因となっています。世界が気温上昇を1.5°Cに抑えるには、食品システムの脱炭素化が必要です。さらに気候変動に対処するには、より多くの食料の持続的な生産、加工、包装、流通の方法を模索する必要があります。これを実現するために、廃棄物が増加するようでは本末転倒です。現在、世界中で製造される食料の1/3は廃棄されています⁷。また、2015年以降、世界経済

は地球が安全に維持できる量の70%以上の資源を消費しています⁸。私たちは、「採って、使って、捨てる」というリニア型消費モデルから循環型経済に移行しなければなりません。ただし、廃棄物の削減だけでは不十分です。生物多様性の保全にとどまらず気候変動を緩和するためには、生態系の保護と修復が必要です。

1 安全な食品システム: 食料の安全保障は国連が定義するように、すべての人々が、いかなる時にも十分に安全かつ栄養ある食料を物理的、社会的および経済的にも入手可能であることを意味します。
2 回復力のある食品システム: 回復力とは、OECDが定義するように食品と農業という背景において、不利な状況に対して、準備および計画、不利な状況の吸収およびそこから回復、より上手な適応、変容する能力を意味します。出典: https://www.oecd-ilibrary.org/agriculture-and-food/strengthening-agricultural-resilience-in-the-face-of-multiple-risks_2250453e-en
3 持続可能な食品システムとは、地球にマイナスな影響を与えない食料の栽培、生産、加工処理、流通、消費を意味します。出典: <https://www.oecd-ilibrary.org/sites/c6fd4d2f-en/index.html?itemId=/content/component/c6fd4d2f-en>
4 食料の生産と消費に関連するすべての要素と活動、およびそれらの効果(経済的成果、健康上の成果、環境的成果を含む)。

5 出典: <https://www.oecd.org/food-systems/understanding/triple-challenge/>
6 Crippa, M. et al. 人類の生産活動による温室効果ガスの増加は、食品システムにもその1/3の責任があります。(2021)。出典: <https://www.nature.com/articles/s43016-021-00225-9>
7 世界食糧計画: 飢餓と食品ロスに関する、5つの事実(2020) 出典: <https://www.wfp.org/stories/5-facts-about-food-waste-and-hunger>
8 サーキュラリティ・ギャップ・レポート: FIVE YEARS OF the Circularity Gap Report(2022) 出典: <https://www.circularity-gap.world/2022>

人類は、すべての野生動物の83%とすべての植物の50%を失いました。その大部分は、グローバルな食品システム²のしくみによります。熱帯森林の破壊³の90%、世界の水の使用量⁴の70%を占める自然生態系の破壊は、作物または穀物飼料生産に起因します。

このすべてを支えているのが社会的持続可能性です。人々の収入、生活、健康がグローバルバリューチェーンの影響を受けるからです。人々の脆弱性は、企業によって悪化する可能性があります。人権の尊重によって彼らの回復力を高めることができます。ただし、強制労働、極貧、危険な作業状態の発生率の増加は、労働者の権利および地域社会の権利にとって脅威となります⁵。

これらの分野の相互のつながりに対処するには、業界関係者間のシステム全体にわたる強力で積極的な協力が必要であると、テトラパックは考えています。テトラパックは、食品・飲料業界の内部のこのような変革において、リーダーとしての役割を果たします。

テトラパックのサステナビリティリーダーシップチーム、諮問委員会および専門家は、私たちの戦略に向けた高い目標達成を確実にするために尽力します。

従業員からエグゼクティブへの報告や説明責任のルートを明確にすることで、必要な管理統制を実現します。

“



食料生産から最終消費者まで、バリューチェーン全体で取り組むことが重要です。たとえば、食品サプライチェーンの各段階で二酸化炭素排出量を削減する、または食品ロスと食品廃棄を削減するために市場を改革するといった方法があります。テトラパックは、世界の模範となるべく、国際連合食糧農業機関の世界食料安全保障委員会など多数のパートナーと連携しています。

ヨハン・ロックストロム
ポツダム気候影響研究所(PIK)所長、ポツダム大学地球システム科学教授、ストックホルム大学教授(水資源と地球の持続可能性)

テトラパックの持続可能性の優先事項

テトラパックは、5つの重点分野の監視、管理、報告に引き続き取り組んでいきます。テトラパックは開示と透明性への取り組みの一環として、定期的に正式な独立した重要性評価を実施して、お客様、ビジネス、社会、環境にとって最も関連性の高いトピックに確実に対処します。2021年、テトラパックは独立系ESG(環境・社会・ガバナンス)顧問会社、AccountAbilityと協力し、重要視すべき持続可能性のトピックを特定するために、ESGの支援を受けて重要性評価を更新しました。これらのトピックを右の表に示します。

[🔗 続きを読む](#)

テトラパックの重点分野	テトラパックの重要なトピック
食品システム	食品の安全性と品質 食品へのアクセス、食品の入手可能性と回復力 食品ロスと廃棄
循環型経済	循環型経済とリサイクル
気候	気候と脱炭素化
自然	水の管理 責任ある原材料の調達 生物多様性と自然
社会的持続可能性	人材獲得、能力開発とエンゲージメント 人権 ダイバーシティ&インクルージョン 従業員の健康、安全、ウェルビーイング 企業倫理 責任あるマーケティングとコミュニケーション

1 出典: https://www3.weforum.org/docs/WEF_New_Nature_Economy_Report_2020.pdf
 2 Benton, T. G., et al. (2021) Food system impacts on biodiversity loss: Three levers for food system transformation in support of nature. Chatham House. 出典: https://www.chathamhouse.org/sites/default/files/2021-02/2021-02-03-food-system-biodiversity-loss-benton-et-al_0.pdf
 3 Pendrill, Florence, et al. "Disentangling the numbers behind agriculture-driven tropical deforestation." Science 377.6611 (2022) : eabm9267
 4 食料と農業のための世界土地・水資源白書 - 限界点にあるシステム統合報告書2021[Rome (2021) : 10.4060/cb7654en
 5 国際労働機関: 50 million people worldwide in modern slavery. (2022) 出典: https://www.ilo.org/global/about-the-ilo/newsroom/news/WCMS_855019/lang-en/index.htm

